

NEWS RELEASE (2023年6月28日)取材依頼

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター

「鹿児島の近現代」連続トークイベント「#鹿児島の女性」の開催について

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

「鹿児島の近現代」教育研究センターでは、令和5年7月2日(日)天文館図書館にて、「鹿児島の近現代」連続トークイベント「#鹿児島の女性01」を開催します。

弊センターは、年間を通して1つのテーマについてのトークイベントを隔月で開催します。2023年度のテーマは「#鹿児島の女性」です。連続トークイベントでは最新の研究成果について、ご参加頂く皆様との対話を重ねながら理解を深めることを試みます。

第1回は「文学×女性×作家」。「鹿児島の近現代」教育研究センターの鈴木優作特任助教が「女性作家を視座とした鹿児島近現代文学」と題したトークをおこないます。また、同時開催として、鹿児島大学文芸同好会 Sora によるビブリオバトル。法文学部澤田成章ゼミと Sora 共催の「ChatGPT 対 人間」の書評対決の結果発表もおこなわれます。

参加費は無料。入退室も自由です。どなたでもお気軽にご参加ください。

記

【日時】令和5年7月2日(日) 13:30~16:30

【会場】天文館図書館 4階 交流ホール

【対象者】一般市民

【内容】13:30~ 開会・主催者側挨拶

13:40~ 「女性作家を視座とした鹿児島近現代文学」鈴木優作 特任助教

14:40~ 文芸同好会 Sora ビブリオバトル

15:40~ 「ChatGPT 対 人間」書評対決 結果発表

16:20~ 閉会・主催者側挨拶

「女性作家を視座とした鹿児島近現代文学」要旨

鹿児島は、〈九州男児〉の語がよく似合う勇ましい男性的な文化がしばしばイメージされますが、今回のトークは近現代文学の領域から鹿児島の女性文化を、改めて考え直す試みです。今回は西南戦争を扱った小説を中心に扱い、池波正太郎や司馬遼太郎といった著名な男性歴史作家による叙述と、阿井景子など女性作家の描写を取り上げ、従軍する男性ばかりでなく彼らを支えた女性たちに着目します。他にも鹿児島の女性作家たちを取り上げます。鹿児島における女性の役割と文化を捉え直し、新しい〈薩摩おじよ〉像を考えるきっかけになれば幸いです。

鈴木優作 特任助教（日本近現代文学）

鹿児島県の近現代文学を研究。博士（文学）。著書に『探偵小説と〈狂気〉』（国書刊行会）、共著に『〈怪異〉とミステリ』、論文に「狂気の価値——中井英夫「幻想博物館」論——」（『日本文学』2022年12月）、「ミステリにおける奇書の再考——内在する〈狂い〉について」（『ユリイカ』2023年7月）など。

「ChatGPT 対 人間」書評対決

法文学部澤田成章ゼミは文芸同好会 Sora と共催で AI (ChatGPT4) と人間のブックレビュー対決を企画しました。同じ本に対して AI と人間（教員・学生）がそれぞれ書評を書き、「どちらが心に刺さったか」「どちらのお勧めが読んでみたいと感じられるものだったか」について鹿児島大学の学生に投票を募りました。この結果について当日発表いたします。

「鹿児島の近現代」連続トークイベント 今後の予定

- 2023年9月 「経済学×女性×外国人」（予定）
- 2023年11月 「人類学×女性×島」（予定）
- 2024年1月 「教育学×女性×キャリア」（予定）
- 2024年3月 「歴史学×女性×丹下梅子」（予定）

以上

※報告会フライヤーを別紙でつけております。

※取材を希望される際には、事前に下記担当者までご連絡ください。

※センターHP <https://kadai-kingendai.jp/>

【問い合わせ先】

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター事務室 担当：河野（こうの）

TEL：099-285-7532 E-mail：kingendaijim@leh.kagoshima-u.ac.jp

文学×女性×作家

#鹿児島的女性

「鹿児島近現代」連続トークイベント

女性作家を視座とした鹿児島近現代文学

鈴木優作特任助教

入退室
自由

7月2日(日)天文館図書館
13:30～

同時開催

文芸同好会Soraビブリオバトル
「ChatGPT VS 人間」書評対決 結果発表



鹿児島大学法文学部附属
「鹿児島近現代」教育研究センター

澤田成章ゼミ・文芸同好会Sora

「鹿児島近代」教育研究センターとは

2022年10月に鹿児島大学法文学部に開所したセンターです。
明治維新以降の「近代」の鹿児島と、戦後の「現代」の鹿児島を対象として教育や研究をおこない、その成果を地域に還元することを目的としています。センターについての詳細はウェブサイトをご覧ください。

「鹿児島近代」連続トークイベントとは

「鹿児島近代」教育研究センターは、年間を通して1つのテーマについてのトークイベントを隔月で開催します。2023年度のテーマは「#鹿児島近代」です。連続トークイベントでは最新の研究成果についてご参加頂く皆様との対話を重ねながら理解を深めることを試みます。

「#鹿児島近代」

2023年度のテーマ「#鹿児島近代」は以下のラインナップを予定しています。

2023年7月「文学×女性×作家—女性作家を視座とした鹿児島近代文学」

9月「経済学×女性×外国人」(予定)

11月「人類学×女性×島」(予定)

2024年1月「教育学×女性×キャリア」(予定)

3月「歴史学×女性×丹下梅子」(予定)

日時や会場、テーマについての詳細は「鹿児島近代」教育研究センターのウェブサイトでご案内します。

「文学×女性×作家—女性作家を視座とした鹿児島近代文学」

鹿児島は、〈九州男児〉の語がよく似合う勇ましい男性的な文化がしばしばイメージされますが、今回のトークは近代文学の領域から鹿児島の女性文化を、改めて考え直す試みです。今回は西南戦争を扱った小説を中心に扱い、池波正太郎や司馬遼太郎といった著名な男性歴史作家による叙述と、阿井景子など女性作家の描写を取り上げ、従軍する男性ばかりでなく彼らを支えた女性たちに着目します。他にも鹿児島の女性作家たちを取り上げます。鹿児島における女性の役割と文化を捉え直し、新しい〈薩摩おごじよ〉像を考えるきっかけになれば幸いです。



鈴木優作 特任助教(日本近代文学)

鹿児島の近代文学を研究。博士(文学)。著書に『探偵小説と〈狂気〉』(国書刊行会)、共著に『〈怪異〉とミステリ』、論文に「狂気の価値——中井英夫「幻想博物館」論——」(『日本文学』2022年12月)、「ミステリにおける奇書の再考——内在する〈狂い〉について」(『ユリイカ』2023年7月)など。

文芸同好会Sora ビブリオバトル

鹿児島大学の文芸同好会Sora。普段は学内で学生同士で交流しています。今回は「本の魅力を伝える」ことにチャレンジするためビブリオバトルを行います。

「ChatGPT 対人間」書評対決 結果発表

近年、社会的に注目を集める「AI」。鹿児島大学法文学部の澤田成章ゼミと文芸同好会Soraが共同開催でAI(ChatGPT4)と人間のブックレビュー対決を企画しました。同じ本に対してAIと人間がそれぞれ書評を書き「どちらが心に刺さったか」「どちらのお薦めが読んでみたいと感じられるものだったか」について投票を募りました。今回、この結果を発表します。

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島近代」教育研究センター

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30 鹿児島大学郡元キャンパス 総合教育研究棟3F

TEL 099-285-7532

<https://kadai-kingendai.jp>